

## 研究事業結果

認知機能短期集中リハビリテーション  
は極めて有効であり

臨床的認知症重症度の進行予防  
心の健康維持（意欲、活動性）を通じ  
ADLの改善が認められる。

更に周辺症状の改善によって在宅系  
への復帰効果が期待される。

平成18年4月から

老人保健施設のみで試行的に行われた、

『認知症短期集中リハビリ』が、

認知症に対して極めて有効であることが実証された。  
(参考資料)



厚生労働省

「認知症の医療と生活の質を高める緊急プロジェクト」  
の報告書にも記載された。

# 認知症短期集中リハビリテーション実施状況

(全老健「認知症短期集中リハビリテーション」提供可能施設 公表意向調査より)

	平成20年10月		平成21年10月	
回答数	1,478施設	100.0%	1,632施設	100.0%
実施している	341施設	23.1%	762施設	46.7%
実施していない	931施設	63.0%	844施設	51.7%
無回答	206施設	13.9%	26施設	1.6%
全数に対する実施率		10.3%		22.7%

実施している施設数は、約2倍に